甲　山　探　鳥　会

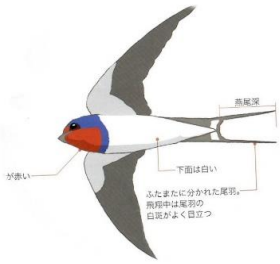
日　時：2023年6月1日（木）　9時～12時30分

場　所：甲山森林公園（集合場所/時間：管理棟前/9時）

《夏鳥の代表選手・ツバメ３種類》

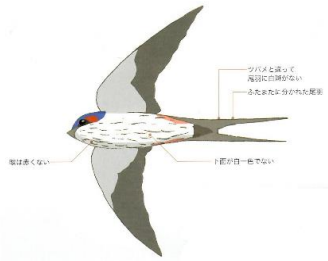
夏鳥の代表選手としては、昔から馴染みの深いツバメが挙げられると思います。
剣豪佐々木小次郎の「燕返し」とか、私達の年代には懐かしい列車の「特急つばめ」は国鉄東海道本線を走り、現在でも九州新幹線にその名前は引き継がれているようです。
また、民家の軒先に巣作りをしたり、水田の上を低空で飛ぶ姿は正に日本の原風景で、私達にとっては身近な夏鳥として親しまれています。
その様なツバメですが、日頃私達が眼にする事が多いのは大体次の３種類だと思いますので、その特徴を掴んで眼の前を軽やかに飛翔する種類を考えてみましょう。

①ツバメ（L17cm）



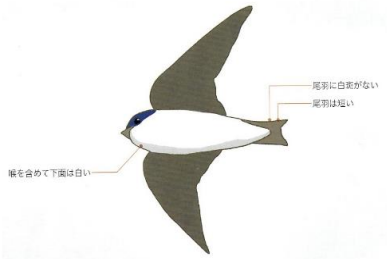
（特徴）①喉が赤く腹は白い。
②♂の燕尾は長い。（61mm）
③尾羽に白斑がある。
④よく電線にとまる。
⑤軒先などに営巣する。

②コシアカツバメ（L19cm）



①喉からお腹は淡い
バフ色をおびた白色。
②腰が橙色で目立つ。
③尾羽には白斑が無く
二股に分かれている。

③イワツバメ（L15cm）



①喉から腹は白色。
②燕尾は短く小柄
③腰が白く目立つ。
④建造物や橋下などに
集団で営巣する。

この時期見られそうな鳥（鳥名は山と渓谷社図鑑「日本の野鳥」掲載順）

	コジュケイ		コゲラ		ムクドリ
	カルガモ		アオゲラ		カワガラス
	カイツブリ		ハシボソガラス		キビタキ
	キジバト		ハシブトガラス		オオルリ
	カワウ		ヤマガラ		スズメ
	アオサギ		シジュウカラ		キセキレイ
	バン		ツバメ		ハクセキレイ
	ホトトギス		コシアカツバメ		セグロセキレイ
	ツツドリ		イワツバメ		カワラヒワ
	ミサゴ		ヒヨドリ		ホオジロ
	トビ		ウグイス		
	ハイタカ		エナガ		
	オオタカ		センダイムシクイ		
	カワセミ		メジロ		

出典：文一総合出版「BIRDER」2023年4月号　山と渓谷社「日本の野鳥」より　　森永啓司

（注）参加されます方は名札の着用をお願い致します。